

ICT ニュース 2025/7 月号

2025/7/22 発行 ICT/感染管理委員会

梅雨が明けますます猛暑となりました。熱中症対策はもちろんですが食中毒による感染性胃腸炎、手足口病、咽頭結膜熱（プール熱）、ダニ媒介感染症、蚊媒介感染症に気をつけてください。さらに、コロナウイルス感染症の発生件数が増加しており、流行が懸念されますので引き続き感染対策の徹底をお願いします。



●三大夏かぜの特徴

夏によく聞く病気の原因「アデノウイルス」があります。アデノウイルスは、飛沫や接触、便などから感染するため、流行期には次の予防法を取ってください。(1)うがいをする (2)石けんでのこまめな手洗いをを行う (3)タオルの共用を避ける

アデノウイルスは色々な病気の原因に

病名	症状
上気道炎・気管支炎	熱、鼻水、咳、ノドの痛みなど
扁桃炎	熱、ノドの痛み、扁桃に膿が付着
咽頭結膜熱（プール熱）	熱、結膜充血、ノドの痛み
胃腸炎	嘔吐、下痢、腸重積
流行性角結膜炎（はやり目）	目の充血、目やに、目の痛みなど
出血性膀胱炎	肉眼的血尿、頻尿、排尿痛、残尿感

特効薬はありません。そのため症状に合わせた対処療法になりますが、風邪の症状があれば風邪薬を、胃腸炎なら胃腸薬という具合です。高熱が続くときは脱水症状に気をつけましょう。

●マダニ（ダニ媒介感染症）

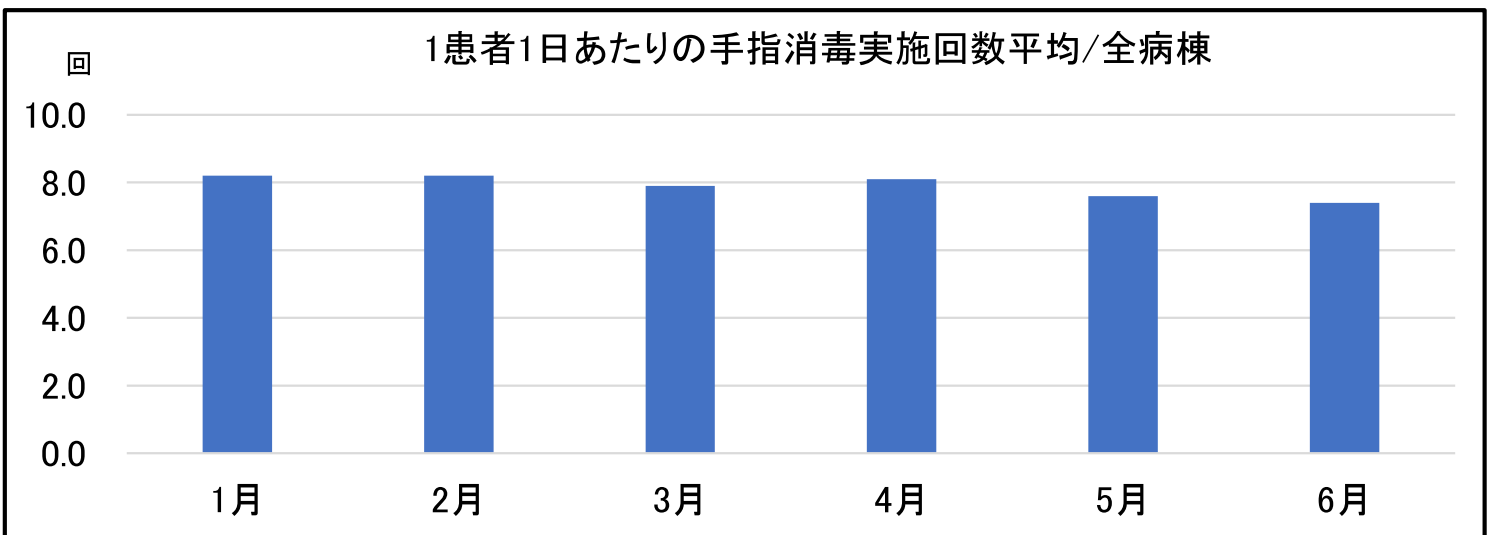
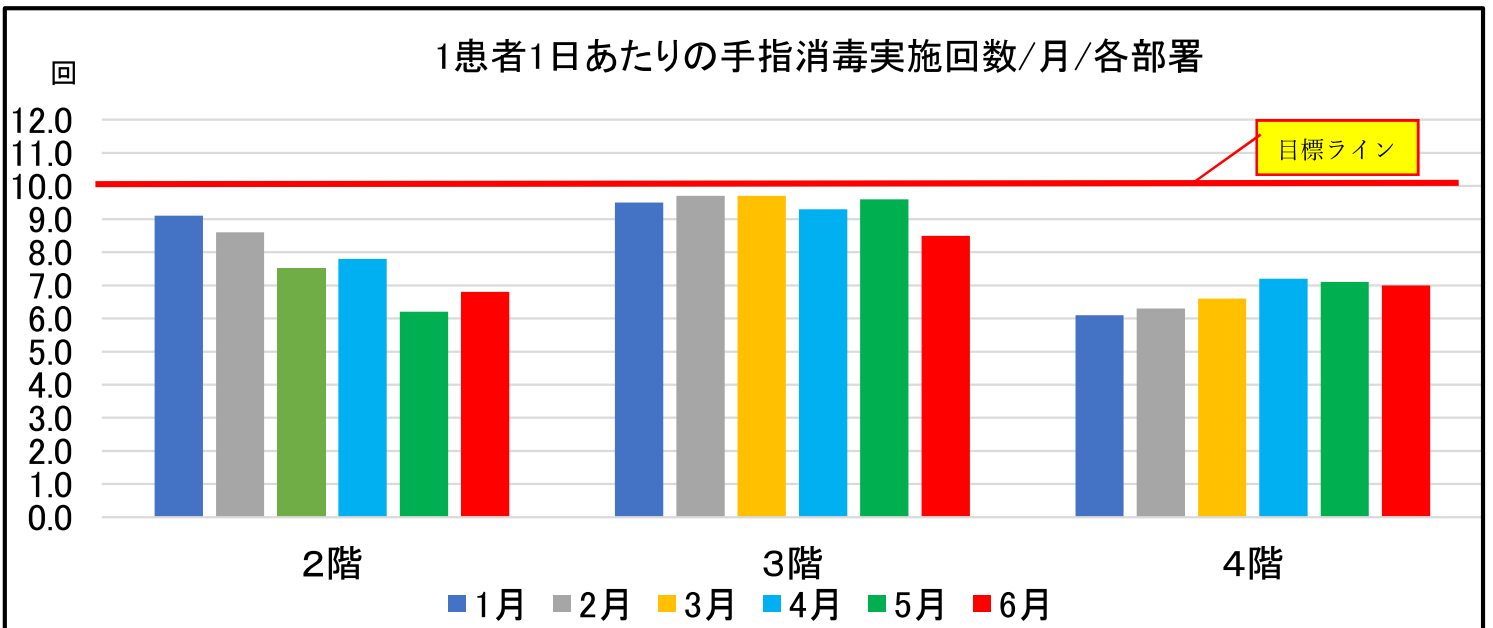
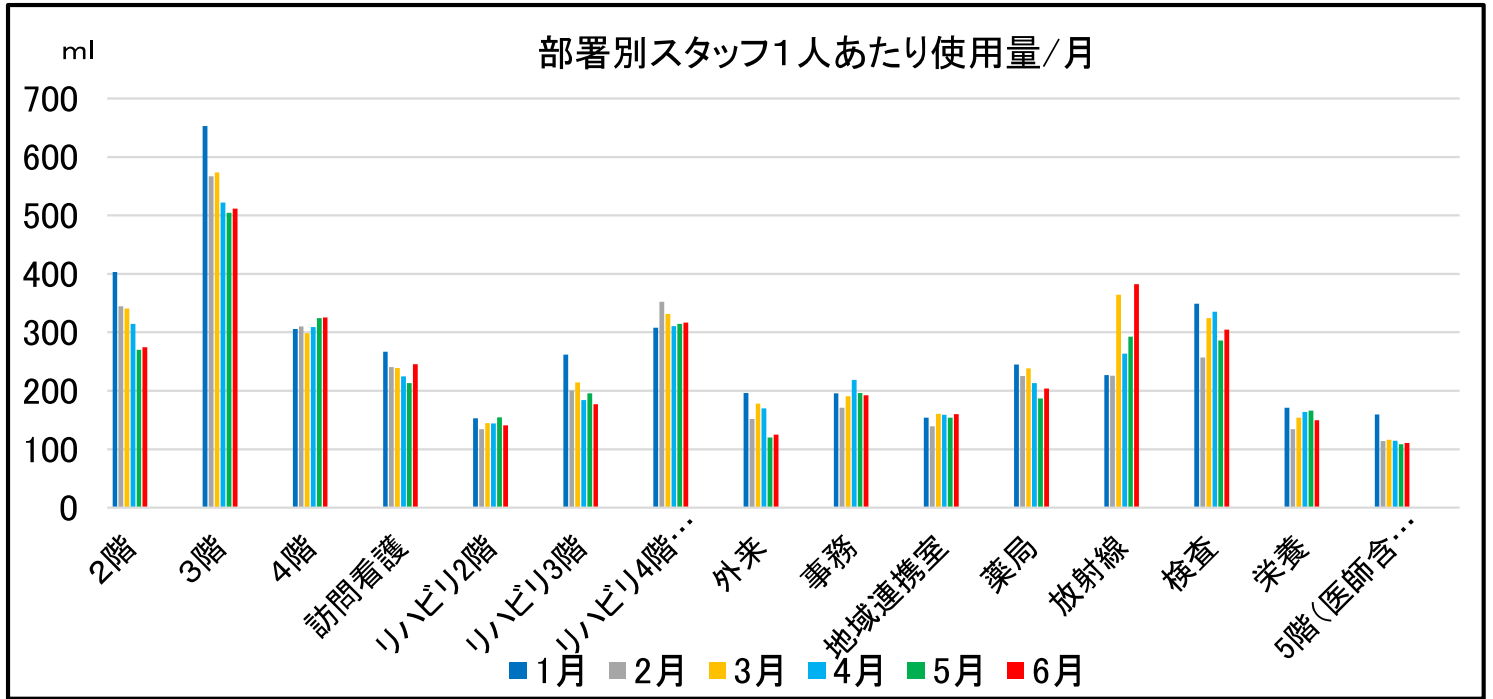
人間や他の動物を苦しめるダニ媒介疾患は、ダニに刺されることによって伝播し発症します。特にマダニに刺されてから6日～2週間程度で、原因不明の発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が現れ重症化する「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」があり、頭痛・筋肉痛・神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）を起こし死亡（死亡率 27%）にいたるケースもあります。

山や草むらへ行く時や畑作業時は注意が必要ですし、ペットからも感染する場合がありますので気をつけましょう。



マダニに刺されたらすぐに除去する必要がありますが、マダニを無理やりむしると口器がちぎれて残ってしまう可能性があるため、皮膚科を受診してください

★2025 年アルコール手指消毒剤使用量



★病棟職員の使用量にばらつきがあり、なかなか増加しません。今後も引き続きタイミング良く手指衛生を心がけてください